



昭和十二年十一月 至 日十四年十一月

戰場ニ於ケル特殊現象ト其対策

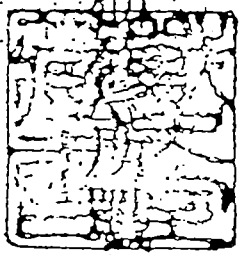
早尾一市雄

昭和六年若老月拾参日

早尾一市雄氏ヨリ

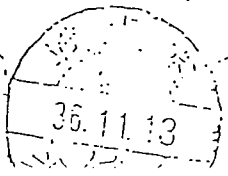
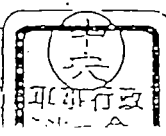
1
7

防衛



史室

137...
9/100-1



早尾史料経歴書

本史料は早尾史料（昭和三十六年度寄贈史料取組書参照）の一つである。

早尾史料は、昭和三十六年十月二十五日渡史室錦さん官長尾正夫（一筆陸佐）を介し、早尾麻雄氏

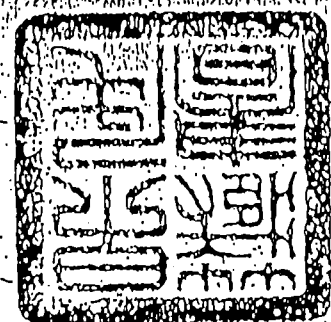
（元軍医大尉、金沢医大出、現京教有教（米軍）精神鑑定医新富区下落合一の四一五）より、渡史

室に寄贈されたものである。

氏は精神病理学の研究者で、本史料は同氏の上海事変従軍時、戦場心理の实態を研究せるものであ

る。
昭和三十六年十月二十五日

渡史室長 西浦 進
錦さん官 長尾正夫



戦場ニ於ケル特殊現象ト其対策

戦場心理研究各論

支那事变 雅呂中提出之論文
(自昭和十二年十一月至同十四年十一月)

一 戦場心理の研究 總論

二 戦場ニ於ケル特殊現象ト其対策 (右各論)

三 戦場ニ於ケル神経病並精神病 (總論)

四 今在 (右論)

五 戦場ニ於ケル自殺企圖ニ就テ

六 中支ニ於リシ支那人精神病院ニ於ケル調査書

七 戦場ニ於ケル犯罪就テ (總論)

八 今在 (右論)

九 戦場ニ於ケル精神鑑査例

軍医並新依囑

軍医務新依囑

戦場ニ於ケル特異現象ト其ノ対策

緒言

日支事変ニ應召シ戦場生活ヲ体験スル時戦場生活ハ
 出征将士ノ精神ニ向テ日常生活ヲハ到底経験ナシ得又
 様々ノ刺激又衝動ガ加ハラレ其等ガ度重ナルト共ニ遂ニ
 特異ナル現象ヲ精神ニ示ス事トナルヲ知ゾタ即チ是等
 ノ現象ガ神経病精神病ノ症候ノ中ニ織リ込マ
 是等ノ事変ハ既ニ歐洲大戦ニアリテ知らレタルモノナルガ故
 ニ教テ珍トナスニ足ラヌカモ知レナイ然レ私ハ戦場ヲ自ら
 経験シテ其ノ事変ヲ確認シ得タトト共ニ歐洲大戦時ニハ
 戦場生活ニ於テ現象ニ存セスルコトヲ知テ此處ニ稿ヲ起
 スコトハナフタ

戦場生活ニ於テハ現象ニ示ス期間ハ誠ニ短ク速カニ是

記載の或る概略の道が、時々戦線が、使途
セラル、隨て其の収容の漸次消滅し終るに安んず致スルに至ル
内地に著イタ患者に再々是を求メ様トシテモ不可能
テアル戦地病院デサヘ其ノ最後方兵站病院へ達シテ順
ニ餘程其の収容ニ變化カアル
故ニ私ハ戦場ノ主要病院ニハ必ズ一人ノ専門軍医ヲ配屬セシ
メ病床日誌ノ記載ニ備ヘテ置カネバナラヌト主張シテ是ニ
ヨワテ内地ノコニアリ實戦ニ参加ナキ軍医ノ感スル不便ヲ除ク
テアル此ノ主張ハ漸次實施セラレタ戦地唯一ノ精神病棟
ハ上福陸軍病院ニアル是ハ昭和十三年十月カラ設置セラ
レタ從テ専門ノ專任軍医ガアル其他ハ幸ニ専門医ハ居
ワタシテモ病棟ヲ持ツテ居ラズ他科ノ病室ノ一部ヲ借り居
ルニ遇ギナイ然レ上福以外ノ主要病院ニハ専門医ノ配屬セ
ラヌモノガ未ダ多数ニアル反之患者輸送班ノ如キモノニ却

陸軍

ワテ専門医ガ配屬サレテ居ル始末デアル或ハ隊附トシテ存在
シ是ヲ他ニ臨時配屬セシムルトノ困難ガアルト言ハレル
此ノ為メニホタ日誌記載ノ収容ハ十分ナラトハ言ヒ難イ幸
ニ内地ノ患者集合地タル広島大坂、小倉等ノ陸軍病院ニハ
比較的早カラ専門医ノ配屬ガアツタノテ日誌ノ収容ハ極
テヨク整ツタガ此處ニ於テハ最早戦場テ目撃スル生々シイ
特異ノ現象ハ既ニ本ノ雜イノデアル
余ハ左ニ戦場テ其ノ中ニアタリ經驗シテ事柄ニ就イテ全
ク遠慮ナク記述シ同好ノ士ノ為メニ参考ニ供ヘタイト思フ
若シ多少ナリトモ戦場生活ノ眞状ヲ傳ヘルコトガ出来タ
ナラバ誠ニ幸デアル

昭和十四年六月稿ヲ終ル

於國社台陸軍病院附

陸軍軍医中尉

○金沢医科大学教授

早尾房

早尾房

戰場生活ニ關係ナル特異事項

於ケル

陸

軍

戰場デハ内地ニ到ル迄經驗ノ出来又色々ノ事情ガ生活ノ
中へ織リ込マレサ是ニヨリテ身心ガ支配セラレ是ヲ刺激ス
ルコトガ甚大デアル次ニ述ベントスルモノハ内容ハ悉ク是
等ガ刺激トナリ人々ノ生来性素因ガ是ニ反應シテ病的
徴候ヲ示スニ至ル事其ヲ逐次記述スルノガ目的デア
ル即チ特異事項トハ左ノ如キモノデア
ル

一 燈火管制

二 細菌戦

三 毒物投入及注入

四 毒瓦斯

五 爆撃

六、復衣隊、正規兵

七、徵發、棹奪

八、防諜、スパイ

九、上官脅迫、枕命

十、詐病

十一、懷鄉心

十二、戰病、戰傷

十三、戰爭恐怖、陣中逃亡

十四、憲兵、活躍

十五、後送、敗地帰還

十六、飲酒、傷害

十七、性慾、強姦

十八、戰爭、虛談症

十九、戰爭、妄想幻覺

②

二十、戰爭、予期願切

二十一、戰爭、迷信

二十二、戰爭、希死

十七、性慾ト強々

出征者ニ對シテ性慾ヲ長ク抑制セシメルコトハ自然ニ支那婦人ニ對シテ暴行スルコト、ナロウト兵站ハ氣ヲキカセ中支ニモ早速ニ慰安所ヲ開設シタ其ノ主要ナル目的ハ性ノ満足ニヨリ將兵ノ氣分ヲ和ケ皇軍ノ威嚴ヲ傷ケル強姦ヲ防グノニアワタ

慰安所ノ急故ハ確カニ其ノ目的ノ却ハ違ハラレタ然シテ多ク救ノ將兵ニ對シテ慰安所ノ女ノ數ハ問題ニナラ又上海ヤ南京ナトニハ慰安所以外ニ其ノ道ハ開ケテラカテ慰安所ノ不足シタ地方へ或ハ前線ハト送り出サレルノデアラフメカシテモ地方的ニハ強姦ノ數ハ相当ニアリ亦前線ニ是ヲ多ク見ル是ハ尚女ノ供給ノ不足シテルコトニ因ルハ勿論ノコトダガヤハリ留學生ガ西洋女ニ興味持フト同様テ支那女トイフ所ニ好奇心ガ湧クト共ニ内地テハ列威許サレ又コトガ救ノ女ダカラ自由ニナルトイフ考ガ非常ニ働イテ居ルタメニ支那娘ヲ見タラ傷心カレタ様ニヒヤソケラレテ行ク從フテ檢査セタ

者コソ不幸ナシテ落ニハドレ程アルカ解ラ又ト思フ

憲兵ノ活躍ノナクマ頃デ而モ支那兵ニヨリ荒サレズ殆ント抵抗マ
ナク日本兵ノ通過ニマカセタ市町村アタリハ支那人モ逃ゲズニ多ク居
マツカラ相奇ニ被害カアワタトイフ加ニ部隊長ハ兵ノ元氣ヲツクルニ
却ツテ必要トシ見テ知ラス振リニ過シタノサヘアワタ位デアアル

然ルガ故ニ支那土民ハ日本兵ヲ見ルト娘ハ何處カへ隠サレテソウ
上海ニ残留シタ日本兵ハ支那人、西洋人ノ前ニ日本ノ軍人ハ非常ニ
礼節ヲ重シムルカラ支那婦人ヲ冒スナンテ事ハ折シテナイト云メ
吹聴シタモノダツタ、然ルニ事実は是ニ相違シタノデ支那民ノ日
本兵ヲ怖ルコト甚シク若イ女ハ悉ク隠サレテ影モナイ様ニナワタ
ト言ハレル

然ルニ南京ノ避難民又カラハ糊口ノ道ヲ得ルタメニ昔ノ夜鷹ノ
如クニ若キ支那人ガ枕ニナルモノ下敷ニナスモノダケラ携エテ昼夜兵ノ宿
舎ニアラハルノ様ニナワタノテ風儀ノ紊サレタ事モアワタ

コソナルト憲兵ノ方モ強姦カ和姦カ区別ラ考ヘネハナラナクナリ
若シ其ノ場所ニ敷物代用品ガアワタリ支那婦人ガ日本兵ヲ持ツテ
居ツタ事実ガ認めラレタラ和姦トシテ取り扱ワテ見ル様ニナリ強姦ノ
数ハ實際ヨリハナクナワタトイフ、敵國人トイフ感ノ働クタメニ無償ニテ
行ヒ要求サレタ時ニ是ヲ追ヒ松ワタリスル為メニ自治委員会カラノ
告訴ニ会ワテ取ツカケ例モナクナイノデアアル
勝利者ナルガ故ニ金銀財宝ハ言フニ及バス敵国婦女子ノ身体迄
汚ストハ誠ニ文明人ノナスベキ行為トハ考ヘラレナイ、東洋ノ礼節ノ
固ツ誇ル國民トシテ慚愧ニタヘ又事デアアル昔和倭ハ上海ニ上陸
シ南京ニ至ル迄此ノ様ナ暴行ニ出タ為メニ非常ニ野蠻人トシ
テ卑メラレ嫌ハレタトイフガ今ニ於テモ同じ事ガ繰リ返サルハ何
トシテ恥辱デアロウ、憲兵ノ活躍ハ是ヲ一掃シ、皇軍ノ名譽
恢復ニ努力シワアルコト感謝ニタヘ又
次ニ強姦事件ノ實例ヲ列挙スル

(一)

或ル兵ハ兵站病院ヲ退院原隊へ復歸ノ途次飲酒酪町ノ上
所屬隊宿舎ノ附近ノ支那赤屋へ侵入シ同家ニ階ニ居合セタ支
那婦女(当千六)ヲ強姦シタ

(二)

(A)(B)ハ他ノ人ヲ誘ヒテ外出シタ Aハ支那婦人(当千十)ヲ見ル
ト劣情ヲ起シ強姦ヲ志シCヲシテ同女ヲ附近ノ空家へ連れ行カシ
メCヲシテ所持ノ小銃ヲ一發發射セシメ更ニ着刃ノ上刃先ヲ同女
ニ突付ケテ脅迫セシメ同女ガ恐怖スルヲ見ルト附近ノ民家内へ
引キ入レ強姦シタ BハAノ目的ヲ達シタヲ知ルトAノ立ケ出タ
後へ入り込ニテ同女ヲ強姦シタ

(三)

或ル兵ハ或ル支那民家へ立ケ空所ルト同家ノ娘(当千六)ガ兵
ヲ見テ怖レ逃ゲ去ラウトスルト是ヲ捕ヘテ強姦シタハカリテナク
翌日又別ツテ再ヨ強姦シタ

(四)

或ル兵ハ飲酒酪町ノ上無断外出シ支那婦人某(当千九)ノ
方へ侵入シ所持ノ軍刀ヲ引キ抜イテ脅迫シタ上強姦シタ

(五)

或ル兵ハ加給ノ酒ニ酔ク戦友ト共ニ外出シ支那婦人某(当千一
千)ヲ認メ是ヲ姦淫セント思ヒ同家内ニ侵入シテ同女ニ性交ヲ
要求シタ同女ハ目兵ヲ怖テ抵抗ノ出来ナイノニ乗ジテ姦淫シ
タ

(六)

或ル兵ハ支那酒ニ酔ヒツ、支那店ニ立ケ寄リ焼島ヲ食スル時
其ノ傍ニ居タ支那少女(当千六)ヲ見ルト同女ガ十三才未滿ノ少
女ナルトヲ認識シテカラ姦淫セント思ヒ同女ヲ抱キテカラ室内へ
入り同女ノ父ニ銃斂ヲフキワケ退去ヲ命ジ置キ同女ヲ姦淫セントセ
シモ少女ノ爲メ目的ヲ達シ兼テ指頭ヲ以テ押シ同女ノ顔傷カセ
シメタヤ

(七)

或ル兵ハ武装街頭ニ出デ支那民家ノ表ヲ蹴外シ家内へ侵入シ
隠レテ居タ支那女(当千六)ヲ発見シ同女ニ銃口ヲ差向ケ脅迫ノ
上姦淫シタカニ同女ヲ宿舎へ連れ行キ帰来スルハ殺スノト脅
迫シテ不法監禁ヲシタ其間抵抗ナシニ乗ジテ姦淫シタ

七五

(ハ)

其ノ翌々日同女ノ宅へ侵入シ怖レ隠レ居ルヲ発見シ強セ女ニ
或ル兵ハ戦友二人ト共ニ支那酒ヤ、ビールヲ飲シテ上支那婦人ヲ探シ
求メテ上輪セ女ニシタ、

(九)

或ル兵ハ齒科治療ニ行ワタ帰途ニビールヲ飲ミ酔ニ乘リ支那赤
屋ヘノックシテ入ツタ、男カ其手ヲ出シテ乞フタ、外ニ話カユルテ着叙
テ警戒ニ出ヨウトスル時ニシツタ其新リニ支那女ニ触レタカモ知レヌ
ト話シタカ是ハ偽リテ強セ女未遂デアツタ、

(十)

或ル兵ハ街上ノ支那赤屋ヘ入ルト親ト娘トカ居タ娘へ要求ヲスル
ト承知シタ母親ハ是ヲ見テ出テ行ツタ、其ノ娘ヲセ女淫セントシ、
タカ發育シテ居ラナラテ出来ナカワタ、(娘ハ才位)其々、帰ワタ
娘へ隊へ来ルハ、残飯ヲマルカラト隊名ヲ書キ置イタニトカラ、憲兵
ニ捕ヘラレタ

以上ノ述ヘタ様ナ例ハ尚沢山ニ舉ゲル事ガ出来ル強セ女ヲマツタ

容易ニ發覺シナイタロウト考ヘルトハ大変ナ誤テコナニ知レ
易イ事柄ハナイノデアルト法務部当局ハ兵連ヲ戒メテ居ツ
タカ全ク其ノ通りデアル

昇ノ軍之ハ何故ニ此ノ様ニ性慾ノ上ニ理性ガ保ラナイカト私
ハ大陸上陸ト共ニ直ケニ痛嘆シ戦場生活一ケ年ヲ通シテ終
始痛感シタ、然レ軍当局ハ敢テ是ヲ不思議トセス更ニ此ノ方
面ニ對スル訓戒ハ耳ニシタ事ガナイ而モ軍経営ノ慰安所ヲ旺
ニ設ケテ軍人ノ為メニ賤業婦ヲ提供シタソシテ娼婦カラ

性病ヲ軍人間ニ蔓延セシメタソシテ遂ニ其レノシテ收容スル
兵站病院ヲ作ル必要ヲ生シタ、性病ノアル間ハ帰還ヲ停
止シタ兵ニシカク嚴ニシテカラ將校間ニ却ワテ性病多カワタ若

イ將校トコロカ上長官ノ間ニ患者ハアリ軍連ニ秘密治療ヲ
受ケテ居ル性病ヲ支那人カラ得ヌ様ニ慰安所ヲ設ケ、内地、内
野人ヲ娼妓トシテ使用シナカラ皮肉ニ彼等ガ性病ヲ去ゲタ

軍当局ハ軍人ノ性慾ハ抑ル事ハ不可能トシテ支那婦人ヲ強姦セ又様ト慰安所ヲ設ケタ然レ強姦ハ甚ク旺ニ行ハレテ支那良民ハ日本軍人ヲ見ルハ必ず是ヲ怖レタ
將校ハ率先シテ慰安所ヘ行キ兵ニ是ヲ示シテ慰安所ハ公用ト定メラレタ心アル兵ハ慰安所ノ内容ヲ知ラテ軍当局ヲ冷笑シテ居ワタ位デアル然ルニ慰安所ヘ行ケ又位ノ兵ハ氣違ヲト罵ワテ將校モアツタ

要之戦場生活ハ殺風景ヲカラ氣ガ荒クナル是ヲ抑ヘル為ニハ兵ニ女ヲ抱カセヨリ善イ策ハナイトシタノハ尤モデアル然レ日本軍人ガ戦争ニ来テ大キナ類ヲシテ慰安所ヘ暇サヘレバ通フ安カク支那人ハ笑ワテ居ワタ
上海上陸シタ其ノ自ニ何處ヘ行ワラ女ガ買ヘルカト在る日本軍人ニ聞クト言フヘテ日本ノ兵隊サレハ戦争ニ来テノチアナイノカト反問シテルノヲ聞イタ

上海デモ南京デモ回春服安ノ婦人ヲ見ルトゲラク笑ワテ取サモ知ラスニ揶揄スルシレガ家庭婦人タルト賣笑婦タルト区別ガナイ慰安ニ来テ女子生ヤ婦人ニ向ワテモ手氣ヲ無作法ナ動作ヲシテ言葉ヲ掛ケルトウレテ軍人ハ此ノ様ニ性慾ニカフエテ居リ亦甚ノ抑制ガナイカト思ヒル 海軍之人ハ決シテ此ノ様ナ風ヲ見セナイノハ海軍之人ノ平常ノ教育ガ宜シイ為メト考ヘラレル
此ノ様ニ陸軍之人ハ性慾ノ奴隸ノ如クニ戦場ヲ荒レテ居ルノデアルカラ強姦ノ頻發モ止ムヲ得ヌト、思ハレタ
宣撫班班一方ニハ大キナ成果ヲ奏ゲフ一方カラ是ヲ破壊スル様ナ破簾痴ナ行爲ガ行ハレアル 即強姦ト金品ノ奪過トデアル、是ハ其ノ職ヲ利用スル無頼ノ徒ガ通譯トシテ入り込ニテ居ルカラデアル、此ノ様ナ不徳行爲ノタメニ大切ナ宣撫事業ガ妨礙セル事一方ナラスト私ヲ誹ル陣カサレタ